# mono

## CONTENTS

2015.2-2No.729

©WPP（禁・無断転載）
表紙写真：北原 薫
AD・表紙デザイン：若山トシオ
DTP：ベイス、インサイド

**特集担当者のおすすめ!**

この「C3fit IN-pulse」は心拍センサーとウエアが一体化しており、モノマガ編集部としては最も「ウェアラブル」してると思うのだ。コンプレッションウエアの装着性のおかげで精度も正確で、見た目も実にスマート。今後のウエア界はこういった発想がもっと欲しいな。

# 先取り ウェアラブル!! WEARABLE

未来のデバイス 20

022 ウェアラブル前夜のウェアラブル プロダクツ
024 僕らはウェアラブルで何を得るのか?
026 活動量計で、さりげない自分磨き
028 ウェアラブルで睡眠管理
最高の自分になれる方法
030 ウェアラブルカタログ!
30 もっとも身体に馴染んだデバイス〈リストウオッチ型〉
33 視線を逸らさずリアルタイムに情報を入手〈眼鏡型〉
36 視界そのままのリアルな追体験〈カメラ型〉
040 ウェアラブルといえばロボットが黙っちゃいない
042 世界で戦うコーチング
熱き鼓動と科学するアスリート
046 大ヒット、ウェアラブルおもちゃ Moff Band
大人も子どもも夢中にさせた男
048 どうなる? 2030年
050 未来は楽しいアイデアでいっぱい ただいま、開発中!

© 1989 Universal Studios. All Rights Reserved.



編集部より◎商品は取扱説明書に従って正しい使い方をしてください。掲載価格は税込みの価格です。実勢価格は編集部調べの価格です。◎次号のモノ・マガジンは2015年2月2日（月）発売です。

# mono

## CONTENTS.2

2015.2-2No.729

**今月のイチ押し!**

目の前を飛行機が時速350㎞で駆け抜ける、「大空のF1」とも呼ばれるレッドブル・エアレース。世界各地を転戦し、多くの観衆を興奮させてきたが、いよいよ今年は千葉・幕張で開催される。そのスピードとパイロットの巧みな操縦には圧倒されるばかり。5月16日(土)、17日(日)に開催予定だ。詳しくは130ページにて。

**時が止まって。** 文と構成／河村喜代子　写真／今井今朝春、WPP Collection　062

## 1992年春【ウィーンのカフェ】

都市と呼ばれる町には、人がどうしたって集まりたくなる場所がある。人が自然に寄ってくる場所がある。
ロンドンにはパブがあり、イタリアにはバールがあって、そしてウィーンにはカフェがある。
カフェはロンドンにも、パリにも、世界のどこにだってあるが、ウィーンは特別だ。
1685年に最初のカフェができてから、ウィーンではカフェを、コーヒーを飲む店以上の場所にしてきた。

**【特集】** 068

## 2015年を刺激するアイウェア

しばらく続きそうなクラシックトレンド、台頭する新素材。さらなる掛け心地の追求と
洗練されていくシェイプ、絶妙なカラーリング表現などアイウェアの技術とデザイン
クリエイティビティはますます目まぐるしい。2015年を刺激するアイウェアをフルラインアップ。

**【特集】大工道具から電動工具まで** 100

## 良い工具で楽しい工作始めよう

電動ドライバーを使えばねじ回しが楽になる。電動丸のこやドライバドリルを
使えば、本格的な工作だって可能だ。大工道具の素晴らしさは実物を見てみるとよくわかる。
アナタの生活に工具を加えて、ちょっと楽しいＤＩＹ生活を始めてみようじゃないか。

**【特集】** 144

## ぼくらの金運向上計画

新年がやってきた。今年は（も！?）良いことがあるといいな！と思うのは皆、誰も一緒。
少しでも差を付けるにはやっぱり、そう“モノ”に宿るラッキーパワーを借りること！　なのだ。


テイスティングモノ …… 007
mono編集部のモノ差し …… 011
う〜ん、うなるモノ …… 018
新作ムービー情報 …… 082
新連載 キングジムのスキマモノ …… 083
ゲームmono …… 084
NEW PRODUCT INFORMATION 新製品情報① …… 089
蘊蓄の箪笥 …… 094
イカがなモノ図鑑 …… 096
スタイリングモノ …… 121
モノ進化論 …… 128
monoの大捜査線 …… 130
モバイルジャーナル …… 140
NEW PRODUCT INFORMATION 新製品情報② …… 142
革はニュースだ …… 160
実戦主義道具学 …… 162
槙田紗子の行ってきまきたやってきまきた …… 164
みうらじゅんの今月の宝物BEST2 …… 165
読者プレゼント&インフォメーション …… 166
バックナンバーリスト&定期購読のご案内 …… 170
次号予告 …… 171




編集部より◎商品は取扱説明書に従って正しい使い方をしてください。掲載価格は税込みの価格です。実勢価格は編集部調べの価格です。◎次号のモノ・マガジンは2015年２月２日(月)発売です。

# ウェアラブルを採用すれば、こんな新体験が待っている!!

**デジタルツールに限らず、私たちの暮らしは充分過ぎるほど便利な製品に囲まれている。ならばこれ以上便利な道具など、人を怠慢させるだけではないのだろうか？　ウェアラブル端末が持つことで生まれる可能性について、大まかにまとめてみよう。**

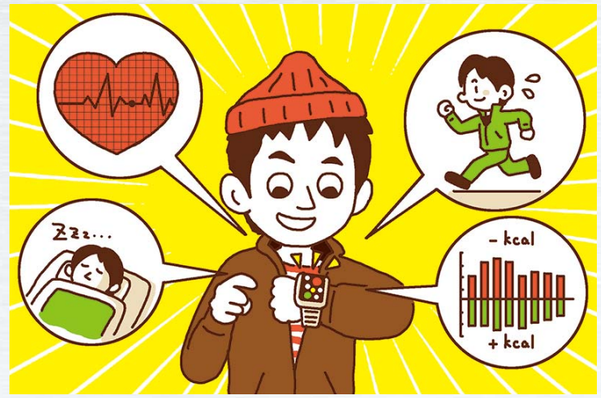
文／モノ・マガジン編集部　イラスト／柏原昇店

## スマホ依存からの脱却に成功

路上や電車内などで見掛けるスマホの〜ながら操作。周辺への注意が散漫になり、**客観的に見るとだらしがないモノである。**通知機能を搭載したウェアラブル端末を装着していれば、**周囲の状況を端末がセンシングして注意を促してくれたり、実世界の情報をリアルタイムで確認できるようになる。**大型化するスマホを何度も取り出す煩わしさや手荷物がある窮屈な状態での操作も解消。**ファッション性が高いデザインが特徴。**

## セルフヘルスケアで自分を知る

健康志向やアスリートたちには馴染み深い**セルフヘルスケアという使い方。**端末に内蔵されたさまざまなセンサーにより**身体データを集計**し、専用アプリケーションをスマホなどを介することにより、**運動量、消費カロリー、睡眠時間などをライフログとして管理**できる。これにより**本人でも知り得なかった情報を発見**することができ、**将来の自分を予測してのトレーニングやモチベーションアップ、**発病時には原因解明などにも繋がる。




## 外出先からも心配事を解消

家族やペットなどの大切な存在とウェアラブル端末でつながることで、**自宅に限らず外出先でもコミュニケーションを取り合える。**何か異常があればすぐに医者や親しい者に通知できるため、**介護・医療分野からの注目も高まっている。**ペットのしつけやエサやりも遠隔操作が当たり前に。家電に指示を出せば、照明や空調、火元や施錠など、共働きで留守にしがちな**自宅のセキュリティ面の不安も解消**できる。

# 僕らはウェアラブルで何を得るのか？

**そもそもウェアラブル端末とはどうして発展したのか？**

「デジタルデバイスの小型・軽量化が進めば「ウェアラブル（身に着ける）」という発想に至ることはごく自然であるが、そのウェアラブル端末がここ数年で台頭してきた理由は、あらゆるセンサーの小型化やCPUの省電力に成功したことなどにより、インフラが整ったからだ。現状ではほとんどのウェアラブル端末にはハブ（接続装置）にスマホを介する必要があるが、これもいずれは単独で使用できる端末も登場するだろう。そういったセンサー・パーツ類の高性能化にあたり、精密さや品質において世界でも屈指の実力を誇る日本にとって、このウェアラブル製品は負けてはならない市場なのである！

**ではなぜ日本での浸透がこんなに遅れているのか？**

世界では次々にウェアラブル端末が誕生しているのに対し、日本ではどうもウェアラブルという言葉自体がまだ浸透していないが、それはなぜだろう？　神戸大学大学院工学研究科教授の塚本先生に尋ねてみた。

「日本企業は『経済の失われた20年』の間に新しいものを作る精神も失ってしまったようです。経済成長がないので企業も保守的になりがちで、失敗を恐れてチャレンジしなくなってしまいました。ウェアラブルデバイスは課題も多く、ネガティブマインドが蔓延している会社の中では企画が通らないことも多かったのではないでしょうか」。

数々の試作品が製品化に至らなかった経緯を見届けてきた塚本先生が寂しそうに言った。

「その他の理由として、保険制度の違いも挙げられます。欧米などでは保険制度が非常に複雑で、加入後も厳しい条件をクリアしなければ保険料補助を受けられません。だから自然とセルフヘルスケアへの関心が高いのです。また、ウェアラブル端末の多くが音声操作機能を搭載していますが、これは日本の人口密度から考えると、なかなか浸透し辛い機能です。日本では人混みの中でも使える、音声とは異なる操作方法の開拓が大きな課題です」。

センサーの小型化が進み、「装着」に対する可能性は拡がる一方で、アイデアをどう具現化するか、作り手のセンスが問われている。

**鍵を握っているのはやはりアップルウオッチ？**

間もなく日本でも発売開始予定のアップルウォッチはウェアラブル界を盛り上げてくれるのだろうか？「間違いなく影響は大きいと思いますよ。日本でもiPhoneを持っている人の10人に1人くらいは持つようになるのではないでしょうか。フェイスデザインやケースの素材・サイズなどの組み合わせによって数百万通りの選択肢を持たせ、ファッションアイテムとして高いレベルにまとめているのは流石です。それからウオッチ型、グラス型、活動量計やアクションカム以外にも、紫外線を測ったり、頭部へのダメージを可視化する帽子など、ある特定のシーンで使用するウェアラブル端末がどんどん登場するでしょうし、今年も楽しみですね」。

**≫ Profile**
**神戸大学大学院**
**工学研究科教授**
**塚本昌彦先生**
特定非営利活動法人ウェアラブルコンピュータ研究開発機構理事長。2001年からウェアラブルコンピュータの装着を行い、未来のライフスタイルを提唱し続けている。最新の端末を常に10点近く装着している。

グラスを装着した視界。実際には液晶が視界から外れるので邪魔とは感じない。

**先取りウェアラブル!!**
未来のデバイス
WEARABLE

Apple〈アップル〉
**Apple Watch**
ケースやベルトの素材・色も数種用意し多様なライフスタイルに対応するApple Watch。豊富なセンサーを搭載し、専用アプリやサービスなどにも期待が高まる。

# 装着型といえば ロボットが黙っちゃいない

## 動作拡大型スーツ「スケルトニクス」

全国的にノーマークであった沖縄代表が2008年のNHK主催の第21回高専ロボットコンテストで全国大会優勝を果たし、現代表の白久さんを含む当事者たちは数名で現在、東京で「外骨格ロボット」について開発を進めていた。このスケルトニクスというスーツ、実はセンサーやモーターでの動力を必要としておらず、特殊なリンク機構を用いて人の力で動くため（腕や歩行も人力で動作）、ある意味ウェアラブルからは遠い存在といえる。しかし人間の手足の繊細な動きをロボットが機敏に再現する様は見事。また、彼らはこの外骨格をさらに変形できるようにし、人が搭乗したままビーグルで移動➡目的地に着いたら人型へ変形して作業ができる「エグゾネクス」を完成させようとしている。量産は視野に入れてはいないが、この技術はきっと「人がロボットに乗って街中を歩く」という夢を近付けてくれるに違いない。

スケルトニクスは初期型（写真下）から現在は第四世代のスケルトニクス・プラクティス（写真右）、第五世代のスケルトニクス・アライブまでが完成しており、主に軽量化や可動範囲が進化。

スケルトニクス第五世代は1000万円で購入可能。㊊スケルトニクス http://skeletonics.com/




現在開発中の「エグゾネクス」に人型からビーグルに変形するんだとか！　1～2年で完成させられるとのこと。早く見てみたい！



全高約2.7mのスケルトニクス。このモデルでセンサーを導入している部分は指先。人力で動かせないことはないが、重く感じてしまうことと、繊細な動きができるよう導入している。

## 荷物の運搬や歩行をアシスト

歩行のアシスト制御と受動歩行制御を両立させた「パワーローダーニンジャPLN-01」、荷物の持ち上げや搬送をアシストする「重量物搬送スーツPLL-01一徹」。これらの早期商品化を目指すのがベンチャー企業アクティブリンク。創業以来、さまざまな企業とのタッグで、パワーアシストスーツを研究・開発し、近い将来、パワーアシスト技術によるバリアフリー社会の実現を目指している。さて、同社のパワーアシスト機器の制御方法は“電動アシスト機能付自転車”に近く、荷物などの持ち上げ作業時や歩行時のみにモーターが作動し、それぞれの行動をアシストするという構造だ。なかでも最新の「ニンジャ」では、歩き初めにモーターが積極的に歩行アシストを行い、安定歩行に入れば受動歩行技術を応用した制御を行うハイブリッド型。しかも、構造の簡素化や軽量化を進めたことで、12キロという最高歩行速度を実現しているのだ。
㊊アクティブリンク☎0742-71-1878

### パワーローダーライト 研究用PLL-01 一徹

脚部には足裏のペダルに仕組まれた6軸力センサーによって、力の大きさと向きを検出し、足の動作を追従させるダイレクトフォース・フィードバック・システムを搭載する。これで脚力を最大約30kg重増大させることが可能。最高歩行速度4km/h。

### パワーローダーニンジャ PLN-01 忍者

それまでの製品（PLL-1）に比べて制御モーターの数を削減させ、消費電力を抑えることで使用時間を約3倍に向上させた歩行アシストスーツ。重量約15kg。アシスト力＋15kg。最高歩行速度12km/h。

### クボタ農業用アシストスーツ ラクベスト

アーム作動角度-90～＋90度。保持荷重7kg。最大開き角度180度。連続使用時間8時間以上/単三電池4本（アルカリ電池、充電式ニッケル水素電池）。全長605×全幅558×全高437㎜。重量3.8kg。価格12万9600円㊊クボタ 国内農機カスタマーセンター ☎0120-131-391

腕をロックすればその角度で固定され、解除は解除ボタンを肘で押すだけ。背部には板バネを使用し、拘束感がなく動作も妨げない。アジャスト機構の採用で、さまざまな体型にフィットする。

## 収穫作業の強い味方

長時間にわたり腕を上げっぱなしで作業する農業従事者の負担を軽減するため、開発されたのがこの「ラクベスト」。見た目は大リーグ養成ギプス（古い？）の強化版といった感があるものの、ギプスがキツイ、苦しいのに対して、こちらはまるでリュックサック感覚の快適な装着感。アーム部分を所定の範囲内にロックすれば、肘の筋力を使わずともブドウやナシの収穫や剪定作業を楽に行なうことができるのだ。しかも、単純な腕の動きで角度の固定や解除が可能なうえ、着脱も簡単。重さもわずか3.8キロというから、まさに高齢化が進む農家の人たちにとって強力な助っ人と言えるだろう。実際に製造元のクボタには、身体の負担軽減だけでなく、生産性も大幅に向上したとの報告が多数寄せられているという。

現在約90台（2014年末調べ）が実際に使用され、“腕の疲れが軽減された”“とてもスムーズに作業ができた”“小休止の回数が減り、能率が向上した”といった反響が得られている。

# 2015
# EYEWEAR HIGH LIGHT

## かけ心地と創造性は日用のために

**しばらく続きそうなクラシックトレンド、台頭する新素材。さらなる掛け心地の追求と洗練されていくシェイプ、斬新なカラーリング。技術とデザインクリエイティビティはますます目まぐるしい。2015年を刺激するアイウェア。**

写真／篠田麦也　文／〈P68-70〉飯島秀明　モノ・マガジン編集部

〈アッシュ〉

## USH by yuichi toyama

UFO-028-S Sean Col.04価格３万6720円
㊐アトリエサンク☎03-3780-1200 http://www.usholic.jp/
2013年春季よりスタートしたUSHの新ライン「"0"ptique（ゼロプティーク）」。下掲のモデルはその初となるサングラスのコレクションだ。クラシカルなボストンシェイプを基本に、素材の選定はもちろん、細部の仕様にまでこだわり抜いたコンビネーションフレームの提案である。高級感漂う仕上がりと共に"過去と未来との融合"をコンセプトにするこのラインならではの究極のダンディズムが薫る。「アイウェア・オブ・ザ・イヤー2015」入賞モデル。

〈マスナガ〉

## MASUNAGA

上・MASUANGA 光輝039 Col.48価格２万7000円
下・MASUNAGA GMS-25 Col.34価格３万4560円
㊐MASUNAGA1905☎03-3403-1905 http://www.masunaga1905.jp
「増永眼鏡」といえば創業110年を数える老舗。その代表的な２つのコレクションから注目株を選抜。上／「MASUNAGA KOKI」は、1970年の大阪万博でタイムカプセルに収納された名作フレームをルーツに持つコレクション。このモデルはあざやかなグラデが美しいウエリントンだ。下／「MASUNAGA G.M.S.」は、1933年に昭和天皇に献上したフレームを起源に、これを2005年に復活させたコレクション。こちらはクラシカルな雰囲気がマットな質感とマッチするボストンシェイプのモデル。

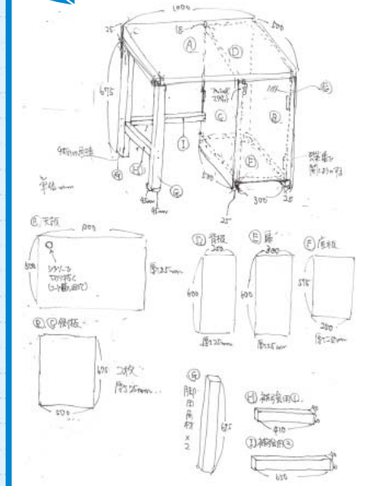
一歩進んで、電動工具で

# DIY 机作りにチャレンジ!

**DIY が好きなら憧れるのが、板を切り出して、デスクやイスなどを作り出すという工作。そこで丸のこにジグソー、サンダーなどさまざまな電動工具を用意して、一枚板からのデスク作りに挑戦。切って穴を空けての作業は、大人の楽しい工作の時間なのだ。**

写真／福永仲秋（ANZ）　文／コヤマタカヒロ

## こんな机を作ってみよう!



曲尺（さしがね）を使って板に罫書き線を引いていく。丸ノコで切ると2㎜ほど追い込まれるので、その分も考えて位置取りを行う。

板の上の罫書き線に合わせて丸ノコの頭をセット。刃が板の使用する側に入り込まないように注意してカットを行う。

# 切る

使ったのはコレ!!

**日立工機**

**丸のこ FC 6MA2**

**オープン価格**

㈱日立工機お客様相談センター☎0120-20-8222

http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/

165㎜の刃をセットできる電動丸のこ。57㎜までの板などをカットすることが可能。1050Wのパワフルモーターを搭載しており、固い木材もスムーズにカット可能。平行度微調整機構や直角度調整機能などを搭載する。

角度調整機能を搭載しており、刃の角度を0°から45°に設定することが可能。木材の断面を斜め45°にカットすることも容易だ。

短いながらガイドも用意。板の端に合わせることで、より直進性を高めることができる。

木材の上を軽やかに滑るアルミベースを採用。安定してまっすぐに走らせることができた。

## 真っ直ぐ切るのはお手のモノ。たくさん木材をカットするなら欠かせない!

丸のこはブレないようにしっかりと押さえたうえで、ゆっくり前方に進めると、ひき肌（切断面）もキレイに、まっすぐカットすることが可能だ。

カットするときは、刃が板に当たる前にトリガーを引き回転させておくこと。刃が回転した状態で板に当たれば、カット時に板が暴れたり、切断位置がズレる心配がない。

付属のガイドを使って板から不要部分をカットしていく。大きくカットするときは別売の大きなガイドを利用する。ガイドで本体と板を固定することで、切断位置が罫書き線からズレることを防げるのだ。

「複数の電動工具を利用して、1枚の木材からデスクを作りませんか」と担当編集のひと言。電動工具は好きだが本格的な家具づくりはそれほど経験はない。これは面白いと、二つ返事でOKを出した。

用意したのは、2メートル超の板2枚と数本の角棒だ。実は作るモノが違っても作業はそれほど変わらない。板を切り、磨き、穴をあけて、ネジ（コーススレッド）で固定していくというだけなのだ。

最初に行うのが、長さ2m超の板から設計図に合わせて必要なサイズの板を切り出すこと。電動丸のこの出番だ。

天板や横板、底板、開き戸などを設計図に合わせて切り分けていく。最新の丸ノコの多くは安全対策が数多く施されているため、素人でも比較的安全に使うことができる。最初はおっかなびっくりだったが、3、4枚切り落とした頃にはコツもつかみ、真っ直ぐきれいに切れるようになった。

続いて、カットした木材はサンダーで磨きをかけていく。デスクの天板や、角の部分は徹底的に磨いておきたい。

あとはケーブルなどを通す穴をジグソーで開け、ドライバードリルなどで板と板をつないでいく。手作業でやるとなると大変だが、電動工具を使うとどの作業も簡単だ。しかも、手作業と違い、裁断面が斜めになったり、ケバ立ってしまうといった心配もない。また、疲れによるミスも発生しにくいのだ。

一枚の板から作業を始めて約3時間。無事デスクが完成した。実際に作ってみると非常に簡単で、作業の多くが楽しく感じられた。電動工具での家具作りは最高の趣味になりそうだ。



# 磨く

良い工具で、ちょっと楽しい工作始めよう!

## キレイな仕上がりを目指すには、磨きが大切。電動サンダーならラクラク!

購入した木材の種類にもよるが、化粧板でない限り、表面はざらざらとしてケバ立っているもの。そこにサンダーをかけると、すべすべとした感触になっていく。尖った角などもサンダーで丸めよう。

使ったのはコレ!!

**ボッシュ**

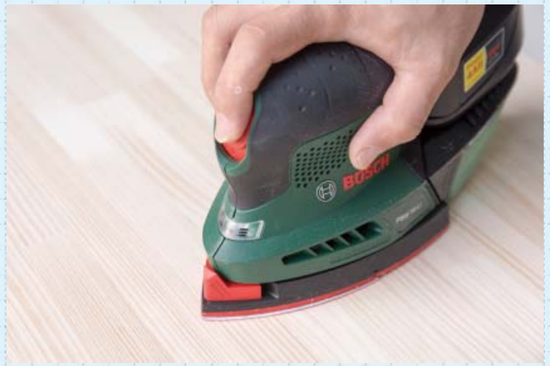
**バッテリー吸じんマルチサンダー PSM 18LIH**

**価格1万4364円**

㈱ボッシュコールセンター☎0120-345-762　http://www.bosch.co.jp/jp/pt/

アイロンのようなボディデザインを採用し、効率よくやすりがけができるマルチサンダー。コーナーや狭い部分なども手軽に磨き上げることが可能。サンディングプレートはマジックテープ式で簡単に取り替えが行える。サンディングダスト（磨き屑）を吸い込み、貯められる専用ボックスも搭載しており、粉が散らからない。

独自の集塵システム「マイクロフィルターシステム」を採用。吸い込んだダストを濾過して、きれいな空気だけを排出できる。



デスクの天板にする部分は念入りにサンダーをかけて表面をなめらかにしていく。定期的に手のひらで表面を触ってみて、滑らかさをチェックしながら行おう。さらに、デスクの角もなめらかにしておくのがベスト。

# 切り抜く

まずはドライバドリルを使って、ジグソーの刃が入る穴を開けておく。ここでは2ヵ所開けた。

ドリルで開けた穴にジグソーの刃を入れて、穴を広げていく。細かい作業になるため、しゃくり機能などはオフに。

トリガーを握ってカットしていく。まずは穴と穴をつなげて、罫書き線を意識しながら、ゆっくりと広げていこう。

穴のエッジ部分をマルチサンダーの先の部分でなめらかにしていく。ここも削りすぎないように慎重に行いたい。

ケーブルなどを通す穴ができた。丸い部分などもゆっくり焦らずにジグソーを動かしていくことでカットできる。

コツとしてはトリガーを握って、ある程度のスピードで刃を動かすこと。刃の動きが弱いと切りにくくて失敗の原因になる。

## 直線の丸のこに対して曲線のジグソー。細かい切り抜きにもってこい

使ったのはコレ!!

**ボッシュ**

**バッテリージグソー PST 18LIH**

**価格1万4364円**

上下に動く刃により80㎜までの木材がカットできるハイパワーなバッテリージグソー。刃をしゃくり上げるように動かすオービタル機能も搭載（4段階で設定可能）。振動も少なく、慣れると細かなカットも簡単だ。

**究極の一点物の世界**

型を使って製作しているのではなく、“手びねり”という手法での製作ゆえ、その職人さんが居なくなってしまえば同じ作風の作品は決して二度と手に入らなくなってしまう。ゆえ、まさに芸術作品といって遜色劣らぬ商品達なのだ。

「置くとPASS」=「オクトパス(タコ)」と幸運の象徴・招き猫が一緒に描かれた置物など、思わずクスリとしてしまうアイテムも数多く存在。是非ともお店で、自分だけのお気に入りを探してみていただきたい。

浅草七福神のうち浅草寺に祀られているのが大黒天だ。黒い大黒天は珍しい。何ともご利益のありそうなそのルックスに惹かれ取材班は即決で購入。価格3800円

## SUKEROKU 助六

縁起物に囲まれ、気づけば数時間

写真・文／Dick Johnson

圧倒的な商品数の店内で、じっくり商品を眺めているとあっという間に時間が経ってしまっていた。店内の中から自分にあった逸品を見つける、といった買い物の醍醐味を体感できるだろう。例えばオススメは、火消しの隊列で常に先頭を走ることから「一番」の意味を持つ「纏(まとい)」や、「他抜き」という意味を持った「タヌキ」の置物など。粋な言葉遊びから派生した縁起物も多く江戸文化の放つ独特な世界観がそこに確かに存在する。

浅草・宝蔵門のすぐ隣に位置し、店内にある約3000点ものアイテムが「縁起物」だという何とも説得力のあるここは1866年創業、江戸趣味小玩具を扱う名店『助六』だ。所せましと並べられた手のひらサイズの小さな置物はどれも職人が手びねりで作りあげた一級品ばかり。小さいけれどそこに宿る躍動感にはどれもダイナミックな生気が宿っている。もともとは綱吉の出した「贅沢禁止令」を受けてこの小さな世界の芸術は発展を遂げていった。浅草の真ん中には江戸時代から脈々と続く文化や歴史が今も尚こうして残っているのだ。そして日本の古き良き物を“縁起物”と見立て愛でることにこそ幸運のきっかけが宿っているような気がしてならない。

**江戸趣味小玩具 助六**

㊟東京都台東区浅草2-3-1
☎03-3844-0577

歴史を感じる通箱(かよいばこ)が、名店としての“証”でもあるように感じられる一幕。大切に扱われ、大切に収納されているのだ。

## KAMEYA 亀屋

招き猫のもなか

写真・文／Dick Johnson

熟練の手つきで、リズミカルに「あん」を詰めていく。整然と並べられたのはもなかに他ならないのだが、猫の形をしているゆえ、妙に愛おしく感じられるのだ……。

**亀屋**

㊟東京都世田谷区宮坂3-12-2
☎03-3429-0208

**贈り物にも最適な 招福もなか**

6個入り540円
9個入り824円

昭和13年創業の老舗和菓子屋に日本各地から注文が殺到する人気メニューが存在する。「招き猫」の形をした〝もなか〟である。店の名物を、と考えていた折、傍に位置する「豪徳寺」にゆかりのある「招き猫」の事を思い出し、それを日持ちのするもなかで表現することにより完成した看板メニューだ。茶色の生地の中には粒あんが、ピンクの生地の中には白あんが、白い生地の中にはこしあんが、それぞれぎっしりと詰まっている。純粋な砂糖の味がする、純度の高い選び抜いたザラメを採用し、小豆を煮て、砂糖を併せる際に一晩寝かせるなどの手間暇をかけて丁寧に作り上げられていく代物。決して派手な商品ではないけれど、ちょっとした和みを提供してくれる頼もしい手土産になってくれることだろう。

Publisher
今井今朝春
Kesaharu Imai
Editor-in-Chief
中山 基
Motoi Nakayama
Deputy-Editor
上岡 篤
Atsushi Kamioka
関谷和久
Kazuhisa Sekiya
Managing-Editor
前田賢紀
Takanori Maeda
松崎薫子
Kaoruko Matsuzaki
杉本恵理子
Eriko Sugimoto
Senior-Editor
本田賢一朗
Kenichiro Honda
Editor
小野正章
Masaaki Ono
小川太市
Taichi Ogawa
岩井良祐
Ryosuke Iwai
和田史子
Fumiko Wada
Manager
大谷 暁
Satoru Otani
Directing Editor
土居輝彦
Teruhiko Doi
Art Director
若山トシオ
Toshio Wakayama
Designer
フェイヴァリット・グラフィックス
favorite graphics
Staff Photographer
熊谷義久
Yoshihisa Kumagai
油科康司
Yasuji Yushina
鶴田智昭
Tomoaki Tsuruda
青木健格
Takenori Aoki
宮坂政邦
Masakuni Miyasaka
Advertising Director
坪井一雄
Kazuo Tsuboi
Production Director
小川俊介
Shunsuke Ogawa
Circulation Manager
笹川裕史
Hiroshi Sasagawa
Print
Dai Nippon Printing Co., Ltd.
DTP
Base, Inside
Correspondents,Washington,D.C.Bureau
(Pictorial Press International)
Norman T.Hatch
Mikako Burks

ワールドフォトプレス ホームページ
http://www.monomagazine.com
モノ・マガジン・ウェブ（mo.WEB）
http://www.monomagazine.com/moweb/
モノ・マガジン・ブログ
http://blog.goo.ne.jp/monomagazine/

# NEXT
次号予告

**総力特集**

## デジタル人類狂喜乱舞！気になるデジギア大集合
# 必買デジギア博覧会！

毎日の楽しさにターボをかける新作デジギアの祭典だ！　話題のロボット、エレクトリックカーから、スマホ、クロームブック、ノートPC、ハイレゾオーディオ、イヤフォン／ヘッドフォン、実践的スマホアプリ、アクションカム、タブレット、電子辞書、電子書籍、デジタルカメラ、デジタルステーショナリーなどなど、スゴいMONOから、ユニークガジェットまで楽しさ全開でお届けします！

**祝・物欲を満足させる最短到達点！**
●モノ情報がてんこ盛り
**モノ・モール新製品情報**
●欲しいものがすぐわかる
**コンビニ・スタイル**
●ネットで買うおもしろモノ
**メイルオーダー「モノ新聞」**

■最旬ランニングギア 2015■「専門ハサミ」スパッと切れ味拝見■花粉対策最前線

**モノ・マガジン 2-16情報号 No.730**
**2月2日発売** 定価637円（税込）

【お詫びと訂正】
モノ・マガジン１月２日・16日合併号におきまして以下の誤りがありました。P.84に掲載した「生クリームサンド」の価格は133円（一部店舗を除く）です。読者並びに関係者の皆様にご迷惑をおかけいたしました。訂正して心よりお詫び申し上げます。

●編集の都合上、内容が一部変更される場合もありますのでご了承ください。

●乱丁・落丁は送料小社負担にてお取り替えいたします。
●本文中の価格は消費税込みの総額表示です。
実勢価格は編集部調べの価格です。
●本文中のサイズ表記はW（幅）、H（高さ）、D（奥行き）を表わしています。

●モノ雑誌のバイオニア 毎月2回（2日・16日）発売
mono
発行人●今井今朝春
編集人●中山 基
発行所●株式会社ワールドフォトプレス
〒164-8551 東京都中野区中野3-39-2
TEL:03（5385）5666［編集部］
03（5385）1350［広告営業部］
03（5385）5701［販売部］
FAX:03（5385）5617［編集部］
03（5385）1348［広告営業部］
03（5385）5703［販売部］
印刷所●大日本印刷株式会社